

工 事 概 要

工事箇所				箇所	5
F型鋼管柱撤去	本	5			

施 工 理 由

本工事は、北大路通無電柱化事業に伴う既存標識柱の撤去を行い、歩道内にある電柱の抜柱を進めていくことで、通行者の安全を確保するものである。					
--	--	--	--	--	--

		設計額		請負額	
		金額	増減額	金額	増減額
工	事	前回	円	円	円
		今回	円	円	
内	工 事 価 格	前回	円	円	円
		今回	円	円	
訳	消費税相当額	前回	円	円	円
		今回	円	円	
支	給 品 費	前回	円	円	円
		今回	円	円	

積算参考資料（間接費補正一覧）

単 価 使 用 年 月	2026年6月	
歩 掛 適 用 年 月	2026年6月	
基 準 適 用 年 月	2026年6月	
単 価 地 区	2601: I 地区	
調 整 区 分	単独工事	
共通仮設費（率計上）		
主 た る 工 種	13:道路維持工事	
施 工 地 域 等 補 正	大都市（2）	1.5
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
現場管理費		
施 工 地 域 等 補 正	大都市（2）	1.2
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

見積参考資料（本工事）

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

※見積等項目名が空欄の場合、細別のすべてを含む単価を示しています。見積等項目名を記載している場合は、細別のうち見積を採用した部分の単価を示しています。

工種	種別	細別	規格・条件	見積等項目名	単位	単価(円)	施工費（諸雑費込） 等の区分	備考
構造物撤去工	可変標識撤去工	F型鋼管柱撤去	φ 216.3×7.25B, 専用アーム共		本	254,000	施工費	路面復旧除く

設計内訳書（本01）

工事名	既存標識柱撤去工事（北大路通）					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路維持			式	1				
舗装工			式	1				
アスファルト舗装工			式	1				
舗装版切断		舗装版種別:アスファルト舗装版, アスファルト舗装版厚:15cm を超え30cm以下	m	11				単 1号(概)
舗装版破碎		舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:25cm, 人力施工	m2	4				単 2号(概)
殻運搬		殻種別:アスファルト殻, 人力積込	m3	1				単 3号(概)
殻処分		殻種別:アスファルト殻	m3	1				単 4号
上層路盤（車道・路肩部）		路盤材種類：各種, 再生As安定処理25, 仕上り厚：150mm, 2層施工	m2	4				単 5号(概)
排水性舗装・表層（車道・路肩部）		種類：ポーラスアスファルト混合物（13）, 舗装厚：50mm, 平均幅員1.4m以下, 導水パイプ有り	m2	4				単 6号(概)
排水構造物工			式	1				
現場打街渠工			式	1				
現場打街渠板		Ⅱ型, 基礎砕石, 型枠, コンクリート, 目地板含む	m	7				単 7号(概)
縁石工			式	1				

設計内訳書（本01）

工事名	既存標識柱撤去工事（北大路通）					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
縁石工			式	1				
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ 【1工区】 【2工区】		ﾌﾟﾛｯｸ規格:B種(PL-5B), セミﾌﾗｯﾄ	m	4				単 8号(概)
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ 【3工区】 【4工区】 【5工区】		ﾌﾟﾛｯｸ規格:B種(180/205×250×600), マウンﾄﾌﾟｯﾌﾟ	m	5				単 9号(概)
地先境界ﾌﾟﾛｯｸ 植樹ﾌﾟﾛｯｸ		ﾌﾟﾛｯｸ規格:植樹樹ﾌﾟﾛｯｸ(2号(直形))	m	4				単 10号(概)
ｺﾝｸﾘｰﾄ工			式	1				
現場打ｺﾝｸﾘｰﾄ工			式	1				
現場打ｺﾝｸﾘｰﾄ		無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 18-8-40(高炉), 一般養生, 現場内小運搬:無し	m3	1				単 11号(概)
構造物撤去工			式	1				
作業土工			式	1				
埋戻し (参考数量)		土質区分:土砂, 土質:土砂	m3	10				単 12号(概)
埋戻し (参考数量)		土質区分:土砂, 土質:土壌改良土	m3	0.6				単 13号(概)
土材料 (材料費)		山砂 (75μm通過10%以下)	m3	13				単 14号(概)
土材料 (材料費)		土壌改良土	m3	0.6				単 15号(概)

設計内訳書（本01）

工事名	既存標識柱撤去工事（北大路通）					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
構造物取壊し工			式	1				
コンクリート構造物取壊し		構造物区分:無筋構造物, 工法区分:機械施工	m3	13				単 16号(概) 低騒音・低振動対策必要
舗装版切断		舗装版種別:コンクリート舗装版, コンクリート舗装版厚:15cmを超え30cm以下	m	4				単 17号(概)
ブロック舗装撤去工 (再設置)			式	1				
フィルター層		40mm以上60mm未満	m2	2				単 18号(概)
下層路盤（歩道部）		仕上り厚:100mm, 1層施工, 再生クラッシュラン RC-30, 全ての費用	m2	2				単 19号(概)
透水シート (材料費)		長繊維ポリエステル系不織布	m2	2				単 20号(概)
インターロッキングブロック撤去(再設置)		再設置	m2	2				単 21号(概)
可変標識撤去工			式	1				
F型鋼管柱撤去		φ 216.3×7.25B, 専用アーム共	本	5				単 22号 見積
運搬処理工			式	1				
殻運搬		殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	13				単 23号(概)
殻処分		殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	13				単 24号

設計内訳書（本01）

工事名	既存標識柱撤去工事（北大路通）				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
現場発生品運搬	発生材種類:F型鋼管柱	t	1				単 25号(概)
スクラップ	ハット-H2	t	-1				単 26号
仮設工		式	1				
土留・仮締切工		式	1				
軽量鋼矢板(電線共同溝) (参考数量)	軽量鋼矢板型式:LSP-1型	m	24				単 27号(概)
軽量鋼矢板賃料 H=2.5m (参考数量)	LSP-1型(参考単位質量10.4kg/m),修理費損耗費含む,使用回数5回,供用日数9日	t	0.5				単 28号(概)
支保工賃料 鋼製切梁サポート (参考数量)	調整長:900~1500mm程度,供用日数9日	本	4				単 29号(概)
支保工賃料 アルミ腹起し (参考数量)	幅:110~120mm・高さ:120~130mm・長さ:4m程度,供用日数9日	本	4				単 30号(概)
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	40				単 31号
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				

設計内訳書（本01）

工事名	既存標識柱撤去工事（北大路通）				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
概略発注工 概略発注工を除く直接工事費の 41.9%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
運搬費		式	1				
仮設材運搬費	運搬・積込み・取卸し(往復分), 片道運搬距離4.5km , 製品長12m以内	t	0.5				単 32号
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				

設計内訳書 (本01)

[illegible]

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 1号	舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm を超え30cm以下	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版, 15cmを超え30cm以下, 全ての費用	m	1			04-03-03	
CB430510								
合計								
単価							円/m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 2号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装版厚:25cm, 人力施工	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 有り, 15cmを超え30cm以下, 有り, 全ての費用	m2	1			04-03-02	
CB430310								
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 3号	殻運搬	殻種別:アスファルト殻, 人力積込	単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
タンクトラック運搬 オンロード・ディーゼル・積載質量4t積級			m3	10			単 33号 DID有, 17.0km以下, 良好	
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 4号	殻処分	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)							単 34号 01-14-01	
WB020051			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 5号	上層路盤（車道・路肩部）	路盤材種類：各種, 再生As安定処理25, 仕上り厚：150mm, 2層施工	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤(車道・路肩部)		路盤材(瀝青安定処理材各種), 1. 4m未満(仕上厚50mm超100mm以下, 75mm, タックコート PK-4, 全ての費用	m2	1			04-01-01	
上層路盤(車道・路肩部)		路盤材(瀝青安定処理材各種), 1. 4m未満(仕上厚50mm超100mm以下, 75mm, フライムコート PK-3, 全ての費用	m2	1			04-01-01	
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 6号	排水性舗装・表層（車道・路肩部）	種類：ポーストラスアスファルト混合物 (13), 舗装厚：50mm, 平均幅員1. 4m以下, 導水パイプ有り	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
排水性舗装・表層(車道・路肩部)		1. 4m未満, 50mm, 有り, ポーストラスアスコン(13), タックコート PKR (ゴム入り)	m2	1			04-01-03	
材料費 導水管排水性舗装用(樹脂製) 内径φ25			m	1				
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 7号	現場打街渠板	Ⅱ型, 基礎碎石, 型枠, コンクリート, 目地板含む	単位	m	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
基礎碎石		7. 5cmを超え12. 5cm以下, 再生クワッジャラソ 40〜0, 全ての費用	m2	5. 5			02-02-02	
CB221110								
型枠		一般型枠, 小型構造物	m2	2			02-04-02	
CB240210								
コンクリート		小型構造物, 人力打設, 18-8-40(高炉), 一般養生, 無し, 全ての費用	m3	0. 92			02-04-01	
CB240010								
目地板		30m2未満, 瀝青繊維質目地板t=10	m2	0. 06			02-02-18	
CB224710								
合計								
単価							円／m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 8号	歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ 【1工区】 【2工区】	ﾌﾟﾛｯｸ規格:B種 (PL-5B), セミﾌﾗｯﾄ	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ CB422510		設置, 各種600mm以下50kg以上100kg未満, 1. 65個/m, 再生ｸﾗｯｼﾔｰﾝ RC-40, 18-8-25 (高炉), 有り	m	1			04-02-03	
合計								
単価							円／m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 9号	歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ 【3工区】 【4工区】 【5工区】	ﾌﾟﾛｯｸ規格:B種 (180/205×250×600), ﾏｳﾝﾄﾞｱｯﾌﾟ	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ CB422510		設置, B種 (180/205×250×600), 再生ｸﾗｯｼﾔｰﾝ RC-40, 18-8-25 (高炉), 有り	m	1			04-02-03	
合計								
単価							円／m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 10号	地先境界ﾌﾟﾛｯｸ 植樹ﾌﾟﾛｯｸ	ﾌﾟﾛｯｸ規格:植樹桝ﾌﾟﾛｯｸ(2号(直形))	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
地先境界ﾌﾟﾛｯｸ CB422520		設置, 各種(600mm以下, 50kg未満), 1. 65個/m, 再生ｸﾞﾗｯｼｬﾌﾟﾛﾝ RC-40, 18-8-25(高炉), 有り	m	1			04-02-03	
合計								
単価							円／m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 11号	現場打ｺﾝｸﾘｰﾄ	無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 18-8-40(高炉), 一般養生, 現場内小運搬:無し	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ｺﾝｸﾘｰﾄ CB240010		無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 18-8-40(高炉), 一般養生, 無し, 全ての費用	m3	1			02-04-01	
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 12号	埋戻し (参考数量)	土質区分:土砂, 土質:土砂	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し CB210410		上記以外(小規模), 土砂, 全ての費用	m3	1			02-01-03	
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 13号	埋戻し (参考数量)	土質区分:土砂, 土質:土壌改良土	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し CB210410		上記以外(小規模), 土砂, 全ての費用	m3	1			02-01-03	
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 14号	土材料 (材料費)	山砂 (75 μ m通過10%以下)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土材料							02-01-02	
CB210550			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 15号	土材料 (材料費)	土壌改良土	単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	山砂(洗い・真砂土) 75μm通過6%以下 Z301210022001		m3	6				
	ﾊﾞｰｸ堆肥 40L 20kg Z330150202001		袋	50				
	真珠岩系ﾊﾟｰﾗｲﾄ 3mm以下 Z330150206001		ﾘｯﾄﾙ	2, 000				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 16号	コンクリート構造物取壊し	構造物区分:無筋構造物, 工法区分:機械施工	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
構造物とりこわし		無筋構造物, 機械施工, 無し, 無し, 必要	m3	1			単 35号 06-01-04	
WB824010								
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 17号	舗装版切断	舗装版種別:コンクリート舗装版, コンクリート舗装版厚:15cmを超え30cm以下	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		コンクリート舗装版, 15cmを超え30cm以下, 全ての費用	m	1			04-03-03 街渠、インター	
CB430510								
合計								
単価							円／m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 18号	フィルター層	40mm以上60mm未満	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
フィルター層		40mm以上60mm未満	m2	1			04-01-03	
CB410650								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 19号	下層路盤（歩道部）	仕上り厚:100mm, 1層施工, 再生クラッシュラン RC-30, 全ての費用	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤(歩道部)		100mm, 1層施工, 再生クラッシュラン RC-30, 全ての費用	m2	1			04-01-01	
CB410031								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 20号	透水シート (材料費)	長繊維ポリエステル系不織布	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
材料費 長繊維ポリエステル不織布			m2	1				
Y000800002001								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 21号	インターロッキングブロック撤去(再設置)	再設置	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
インターロッキングブロック撤去 (再設置)		撤去及び再設置, 直線配置, フック厚 6cm, 砂(クッション用), 30mm, 100m2未満, 無, 無	m 2	1			単 36号 06-02-02	
WB810420								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月	2026. 06	
						歩掛適用年月	2026. 06	
						労務調整係数	1. 000-00000	0. 0 0
単 22号	F型鋼管柱撤去	φ 216. 3×7. 25B, 専用ｱｰﾑ共	単位	本	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
F型鋼管柱撤去 φ 216. 3×7. 25, 専用ｱｰﾑ共			本	1			路面復旧除く	
合計								
単価							円／本	

1 次単価表(概)

						単価使用年月	2026. 06	
						歩掛適用年月	2026. 06	
						労務調整係数	1. 000-00000	0. 0 0
単 23号	殻運搬	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬 CB227010		コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 有り, 3 4. 3km以下, 全ての費用	m3	1			02-02-25	
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 24号	殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)							単 37号 01-14-01	
WB020051			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 25号	現場発生品運搬	発生材種類:F型鋼管柱	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場発生品及び支給品運搬		クレーン装置付2t積、吊能力2. 9t, 有り, 11. 5km以下					01-02-03	
CB010410			t	1				
現場発生品及び支給品積込・荷卸		クレーン装置付2t積、吊能力2. 9t					01-02-03	
CB010420			t	1				
合計								
単価							円／t	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 26号	スクラップ	ヘビ-H2	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
スクラップ ヘビ-H2			t	1				
Y006400000001								
合計								
単価							円／t	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 27号	軽量鋼矢板(電線共同溝) (参考数量)	軽量鋼矢板型式:LSP-1型	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
軽量鋼矢板設置・撤去			m	1			04-04-02	
CB440480								
合計								
単価							円／m	

1 次単価表(概)						単価使用年月	2026. 06	
						歩掛適用年月	2026. 06	
						労務調整係数	1. 000-00000	0. 0 0
単 28号	軽量鋼矢板賃料 H=2. 5m (参考数量)	LSP-1型(参考単位質量10. 4kg/m), 修理費損耗費含む, 使用回数5回, 供用日数9日	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板 賃料 軽量鋼矢板 LSP-1型 (H=2. 5m) Y007010000001			t	1				
合計								
単価							円／t	

1 次単価表(概)						単価使用年月	2026. 06	
						歩掛適用年月	2026. 06	
						労務調整係数	1. 000-00000	0. 0 0
単 29号	支保工賃料 鋼製切梁サポート (参考数量)	調整長:900～1500mm程度, 供用日数9日	単位	本	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼製山留材 賃料 鋼製切梁サポート (基本料) Y007100000001			本	1				
鋼製山留材 賃料 鋼製切梁サポート (賃料) Y007100000002			本・日	9				
合計								
単価							円／本	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 30号	支保工賃料 アルミ腹起し (参考数量)	幅:110～120mm・高さ:120～130mm・長さ:4m程度, 供 用日数9日	単位	本	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼製山留材 賃料 アルミ腹起し (基本料)		Y007100000003	本	1				
鋼製山留材 賃料 アルミ腹起し (賃料)		Y007100000004	本・日	9				
合計								
単価							円／本	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 31号	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B		WB010212	人日	1			単 38号 02-05-21	
合計								
単価							円／人日	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 32号	仮設材運搬費	運搬・積込み・取卸し(往復分), 片道運搬距離4. 5km , 製品長12m以内	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
仮設材等の運搬 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)		WB010020	関東・中部・近畿, 4. 5km, 12m以内, 各種(実数入力), 0, 無	t	1		単 39号 01-02-02	
仮設材等の運搬 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)		WB010020	関東・中部・近畿, 4. 5km, 12m以内, 各種(実数入力), 0, 無	t	1		単 39号 01-02-02	
仮設材等の積込み取卸し費		WB010030	積込み、取卸し(往復分)	t	1		単 40号 01-02-02	
合計								
単価							円／t	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 33号	ダンプトラック運搬 オンロード・ディーゼル・積載質量4t積級		単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ダンプトラック運搬			日	1.43			単 41号	
諸雑費(まるめ)								
ZS3000004			式	1				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 34号 WB020051	処分費(m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 As殻（掘削）			m3	100				
Y007600000003								
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 35号 WB824010	構造物とりこわし	無筋構造物, 機械施工, 無し, 無し, 必要	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
無筋構造物 昼間 機械施工 制約無 単価補正1. 300 (FP3)		Q001611001	m3	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 36号 WB810420	インターロッキングブロック撤去 (再設置)	撤去及び再設置, 直線配置 フロック厚 6cm, 砂(クッション用), 30mm, 100m2未満, 無, 無	単位	m 2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
インターロッキングブロック撤去工 再使用 単価補正1. 400 (FP3)		Q001064001	m2	100				
インターロッキングブロック設置工 一般部 T=6cm 標準品 直線配置 単価補正1. 100 (FP3)		Q001060001	m2	100				
インターロッキングブロック ブロック厚6cm 標準品 単価補正-1. 020 (FP3)		Z002360001	m2	100				
インターロッキングブロック ブロック厚6cm 標準品		Z002360001	m2	2				
砂 クッション用		Z002150001001	m3	3. 87				
諸雑費(まるめ)		ZS30000004	式	1				
合計								
単価							円／m 2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 37号 WB020051	処分費 (m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 コンクリート殻（無筋）			m3	100				
Y007600000002								
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 38号 WB010212	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人	1				
R0804								
諸雑費(まるめ)			式	1				
ZS3000004								
合計								
単価							円／人日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 39号 WB010020	仮設材等の運搬 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)	関東・中部・近畿, 4. 5km, 12m以内, 各種(実数入力), 0, 無	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
基本運賃区分A 製品長12m以内 10kmまで 単価補正1. 000		Z006810001	t	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／t	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 40号 WB010030	仮設材等の積込み取卸し費	積込み、取卸し(往復分)	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込み、取卸し費(仮設材等)		Z006800001	t	2				
合計								
単価							円／t	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 41号	タンブトラック運搬		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
	R0115		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	42				
タンブトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級		機械条件: 供用 持込						
	M000301002		供用日	1. 16				
タイヤ損耗費 4t積級 良好 供用日								
	Z010020045		供用日	1. 16				
合計								
単価							円／日	

特記仕様書（個別工事編）

工事名 既存標識柱撤去工事（北大路通）
工事場所 京都市左京区下鴨高木町他 地内

1 一般事項

第1条（適用）

本工事の施工に当たっては、「設計図書」によるほか、土木請負工事必携（以下「請負工事必携」という。）（令和7年8月京都市）」及び「特記仕様書（全工事共通編）（令和8年4月）」によらなければならない。

なお、本工事施工現場には、必ず請負工事必携、特記仕様書（全工事共通編）及び本特記仕様書を常備しなければならない。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）の仕様書、様式等」参照
請負工事必携・特記仕様書（全工事共通編）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000292439.html>

第2条（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局週休2日工事」の対象（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」）であり、「京都市建設局週休2日工事実施要領」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000322908.html>）に基づいて実施する。ただし、「通期の週休2日」は必須である。
- 2 受注者は、契約後すみやかに、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施を希望するか否かを、発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施内容を反映させること。
- 3 「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」を達成した場合は、工事成績評価の審査項目「創意工夫」において、加点対象となる。
- 4 受注者は、本市が週休2日の推進を目的に受注者に対して実施する「京都市建設局週休2日工事」に関するアンケート調査やヒアリング調査に、随時協力しなければならない。
- 5 工事標示板に「京都市建設局週休2日工事」である旨を明示すること（様式不問）。

第3条（受注者希望方式による「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の対象（ただし、受注者希望方式）であり、「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000338803.html>）に基づいて実施する。
- 2 受注者は、契約後速やかに、建設キャリアアップシステムの活用を希望するか否かを、発注者へ通知し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。
- 3 建設キャリアアップシステムの履行状況を確認できた場合は、工事成績評価の審査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

第4条（ウィークリースタンスの実施）

本工事は、ウィークリースタンスの対象である。

実施に当たっては、「京都市建設局ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、以下の項目について取り組むこととする。

- (1) 休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない。
- (2) 休前日（金曜日等）に新たな依頼をしない。
- (3) 勤務時間外に書類作成等の依頼をしない。
- (4) 昼休みや勤務時間外の打合せを行わない。
- (5) 作業内容に見合った作業期間を確保する。（適正な期限日を設定する。）
- (6) 打合せは Web 会議（ビデオ会議機能）も活用する。

なお、工事の特性を踏まえ、災害等の緊急的な対応、第三者等の要求に伴う対応及び関係機関等との協議による休日又は夜間作業等により、取組が実施できない場合の対処方法（依頼や期限に関する特例、代休、振替休日の措置等）については、受発注者で確認し、共有する。

第5条（前払金）

前払金は、請負代金の40%以内とし、中間前払金は、同様に20%以内とする。なお、前払金保証（中間前払金保証を含む。）について、電子証書の提出を可能とする。

※ 京都市入札情報館ホームページ「契約保証及び前払金保証に係る保証証書の電子化への対応について」参照（<https://www2.city.kyoto.lg.jp/rizai/chodo/info/pdf/2023/shoushodenshika.pdf>）

2 現場条件に関する事項

第6条（現場条件）

本工事の施工に当たっては、下記の現場条件に留意すること。

- 1 現在、既存標識柱に共架している可変標識については、京都府警察本部で撤去工事を行う。京都府警察本部の撤去工事が完了後に、本工事を着手すること。

第7条（工事規制）

- 1 本工事施工箇所は、京都市道路工事調整会規約施行細則第17条に掲げる工事規制のうち、次の各号の規制種別に係る規制路線及び地域内であることから、同条に基づく規制期間及び規制内容を遵守しなければならない。なお、規制範囲は歩車道を含めた全幅とする。

京都市道路工事調整会規約施行細則

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000003649.html>

(1) 年末年始規制

(2) 観光規制

規制種別	規制路線及び地域	規制期間	規制内容
年末年始規制	幹線道路	12月20日～1月5日	規制期間中は、新たな工事に着手し、又は工事区域を拡大してはならない。ただし、道路の仮復旧等、一般交通に開放するための工事はこの限りでない。
	準幹線道路		
	その他道路	12月27日～1月5日	
観光規制	道路工事規制図に記載する地域及び路線	4月1日～5月15日 10月の最終土曜日 ～11月の最終日曜日 (ただし、12月1日が土曜・日曜の場合は12月最初の日曜日まで)	規制期間中は、原則として工事を中止すること

第8条（交通誘導警備員）

- 1 交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署等の打合せの結果、又は条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	交通誘導警備員 (1日当たりの編成人数)	編成	昼間・夜間・ 24時間の別	交替要員の有無
施工箇所	4名（交代要員1名含む。）	交通誘導警備員B 4名	昼間	有

- 2 上表において交替要員を有としている配置場所については、作業中は交通誘導警備員を常時配置するものとし、休憩時等における交替要員を考慮するものとする。

3 監督職員の確認に関する事項

第9条（材料確認）

受注者は、次表の材料・資材・製品について、監督職員が臨場のうえ、材料確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に材料等の名称・規格等を記載すること。

受注者は、監督職員が材料確認のために臨場した際、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料（見本を含む）との照合、搬入された材料等の外観（角欠け、ひび割れ等）、形状、寸法及び数量等の確認を受けなければならない。

ただし、監督職員の確認が机上となる場合、受注者は、当該材料等の外観、形状、寸法（幅、長さ、高さ）及び搬入数量等が判別できる写真記録等の資料（納品書、納品伝票も可）を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該材料等を使用して工事を実施してはならない。

土木工事施工管理基準「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料

材 料・製 品	備 考
プレキャストコンクリート製品 (JIS I 類、JIS II 類含む)	「品質管理基準及び規格値」 (区分・項目・方法・頻度)

第10条（受注者の臨場）

監督職員が行う段階確認においては、主任技術者（又は監理技術者、或いは監理技術者補佐）又は現場代理人、若しくは、予め監督職員の承諾を得た者が臨場のうえ、確認を受けなければならない。

第11条（段階確認）

受注者は、共通仕様書（3-1-1-4）の「表3-1-1 段階確認一覧表」に示す各種別、「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目及び次表の工種・種別等の施工段階において、監督職員が臨場のうえ段階確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に確認内容を記載すること。

ただし、監督職員による確認が机上となる場合、受注者は、施工状況、出来形、品質、不可視部分等の判別ができる施工管理記録（出来形成果表、設計図面との対比図、品質管理記録等）と写真等の資料を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該工種以降の作業を実施してはならない。

監督職員の指定に基づき実施する段階確認（「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目含む）
（「共通仕様書（3-1-1-4）の「表3-1-1 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認以外」

工種-種別等	細 別	確 認 項 目
構造物撤去工	コンクリート構造物取壊し	コンクリート基礎撤去完了時、埋戻し状況

4 建設副産物に関する事項

第12条（建設副産物の適正処理）

1 建設廃棄物が発生する場合の対応

本工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。

なお、下表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督職員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。

また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」（最終改正平成23年4月1日）を遵守すること。

特に、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。このとき、受注者が排出業者であることとして保管の義務のあるA、B2、D、E票については、その原本を監督職員へ提示すること。

<産業廃棄物>

建設副産物	受入場所	備 考
コンクリート塊 (無筋)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都府綴喜郡宇治田原町大字禅定寺小字棕谷37番ほか5筆	設計運搬距離 L = 33.0 km
アスファルト塊 (掘削)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都府京都市伏見区横大路千両松町78番地	設計運搬距離 L = 16.6 km

2 舗装切断時等において発生する濁水及び粉塵

受注者は、舗装切断時等において発生する濁水を回収し、産業廃棄物（汚泥）として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

また、受注者は、濁水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も、濁水と同様に、吸引する装置の併用など、粉塵飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

当初設計には濁水及び粉塵の収集運搬及び処分に掛かる費用は計上していない。濁水処理費等が必要な場合は、設計変更の対象とする。

3 スクラップについて

本工事の施工により発生するスクラップは、下表の条件で積算している。

なお、搬出先は必要な許可を有するものとし、その証明書の写し（搬出先を変更したときのみ）と処分量を明記した証明書（受入確認書等）を監督職員に提出すること。

建設副産物	受入場所	備 考
スクラップ (ヘビーH2)	京都市南区上鳥羽鉾立町 4	設計運搬距離 L = 1 0.0 km

第 1 3 条 (特定建設資材の分別解体等及び再資源化等)

- (1) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(最終改定令和 7 年 6 月 1 日)(以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等及び再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上明示した以下の事項と別の方法であった場合でも設計変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

分別解体等の方法

	工 程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎工(杭基礎等)	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他()	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

※ 特定建設資材廃棄物を排出する場合、再資源化施設等の所在地については、本特記仕様書に示す「建設副産物の適正処理について」に記載のとおりとする。

- (2) 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再生資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第 1 8 条に基づき、以下の事項を別に定める 1 8 条様式に記載し、監督職員に報告すること。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出した場合、1 8 条に基づく報告を省略することができるものとする。

5 その他事項

第14条（工事書類の提出）

完成検査の受検に向けた出来形図書については、工期末の1ヶ月までに提出すること。また、完成検査に必要な工事書類については、工期末の2週間前までに提出すること。

第15条（情報共有システムの利用）

1 本工事は、情報共有システム（以下「システム」という。）の利用対象とする。

システムの利用に当たっては、「京都市建設局情報共有システム活用ガイドライン（令和6年3月）（※）」（以下「ガイドライン」という。）を遵守するものとし、ガイドラインの内容を十分に確認したうえで事前協議を行うこと。

2 利用するシステムは、ガイドラインで定める要件を満たすシステムの中から、受注者が選定すること。

3 システムの利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれており、システム提供者との契約や利用に係る手続等は受注者が行うものとする。

4 システムで発議・提出・受理などの処理を行った工事帳票は、「京都市建設局電子納品実施要領」（以下「要領」という。）に基づき作成された仕様の電子データで出力し納品すること。

なお、要領は適宜改正されることから、適宜、京都市情報館を確認すること。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」参照

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000280681.html>

第16条（受注者希望型における遠隔臨場の実施）

本工事は受注者の希望により遠隔臨場を行うものとする。

1 目的

本工事は、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和5年3月）及び「建設現場における遠隔臨場に関する監督・検査実施要領（案）」（令和5年3月）の内容に従い実施するものとする。

2 実施内容

（1） 「段階確認」、「材料確認」及び「立会」の実施

ア 受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により撮影する映像と音声を監督職員へWeb会議システム等を使用し、双方向の通信により会話しながら確認する。実施内容については、受発注者間の協議により決定するものとする。

イ 遠隔臨場に使用する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の資機材は受注者が準備するものとする。ウェアラブルカメラ等の資機材は、使用製品を限定するものではなく、一般的なAndroidやiPhone等のモバイル端末を使用することも可能である。ただし、監督職員が使用するパソコン等の機器・ネットワーク環境に適合する資機材を使用するものとし、資機材の選定に当たっては監督職員から承諾を得ること。

なお、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の使用は、「段階確認」、「材料確認」及び「立会」だけでなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

(2) 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査を実施する場合は、調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(3) 費用

遠隔臨場の実施に掛かる費用については、積上げ計上していないが、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和5年3月）の内容に従い、遠隔臨場の実施に要する費用を設計変更の対象とする。

なお、遠隔臨場の実施方法については、施工計画書提出までの協議において提案するものとする。また、受注者はその費用について見積書を提出するものとする。

(4) 成績評定

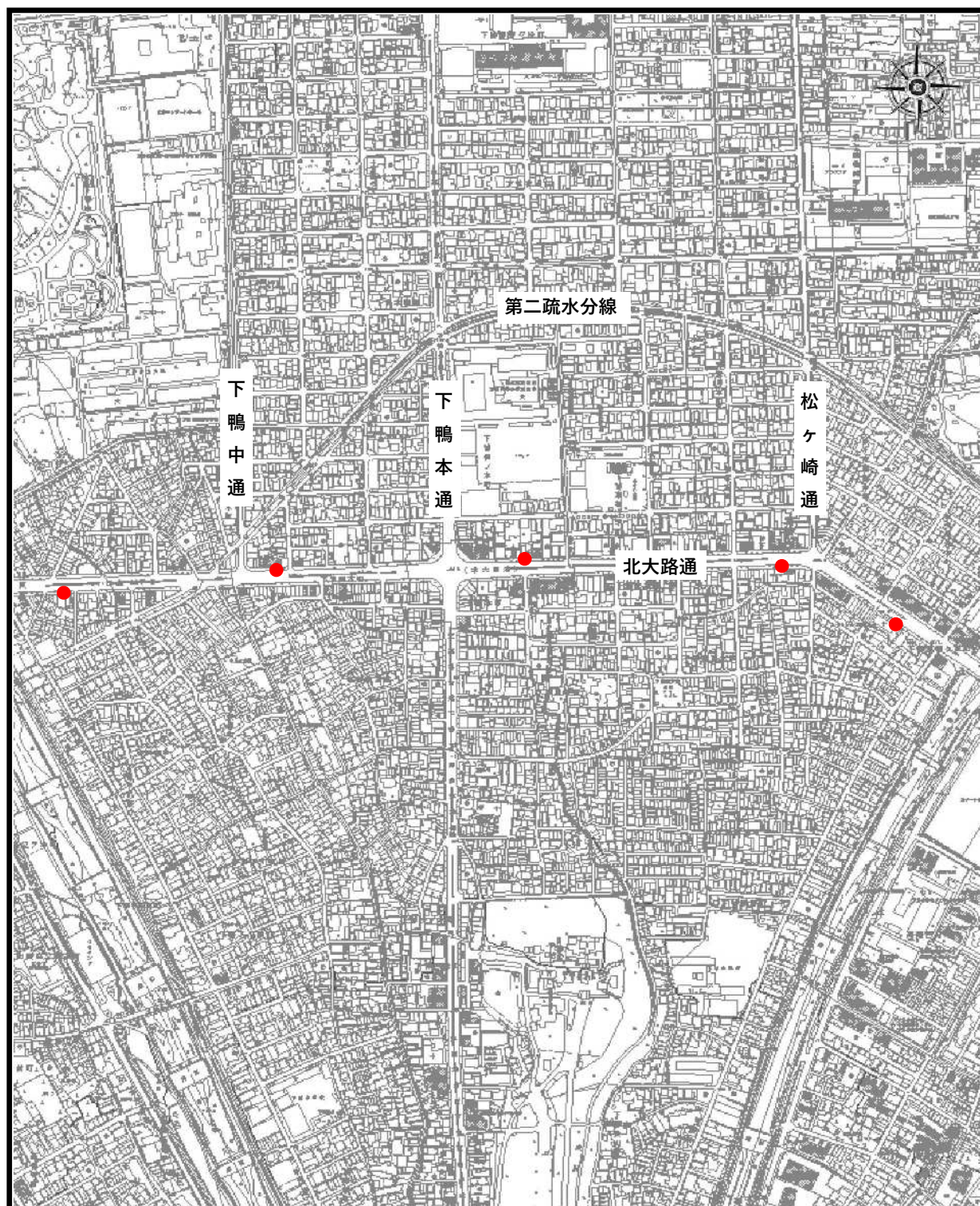
遠隔臨場を実施した工事の成績評定は、考査項目「創意工夫」において、1点の加点とする。

第17条（その他の特記事項）

- 1 受注者は、必ず、着工前に工事ビラ「〇〇工事のお知らせ」を工事箇所の周辺住民に配布すること。
なお、様式等は監督職員の指示に従うこと。
- 2 沿道との施工調整等のため、請負者において工事ビラの作成・配布を行う場合は、ビラの内容等について監督職員の承認を得ること。
- 3 関係企業者と立会いを行った場合は、監督職員に関係企業者との協議内容を記載した立会調書を提出すること。
- 4 施工に際し、周辺家屋や道路を汚損してはならない。誤って汚損した場合には、道路開放時間までに清掃するとともに、受注者の責で対応しなければならない。
- 5 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書」、「特記仕様書（全工事共通編）」及び「特記仕様書（個別工事編）」とともに、下記基準等によるものとし、疑義のある場合は必ず監督職員に事前に確認を行うこと。
 - (1) 京都市道路構造条例
 - (2) コンクリート標準示方書
 - (3) 舗装設計施工指針、舗装設計便覧、舗装施工便覧
 - (4) 道路土工指針
 - (5) その他関係示方書・法令・規則等
- 6 「共通仕様書」、「特記仕様書（全工事共通編）」及び「特記仕様書（個別工事編）」に反して工事を施工した場合、改善またはやりなおしを命ずるが、そのときは、速やかにその指示に従うこと。
- 7 隣接する地元関係者（官公庁等も含む）との協議、施工区域、施工時間、施工日等に関する事項については、受注者の独自の判断で施工してはならない。必ず監督職員に報告し確認を受けること。
- 8 週間工程表については、前の週の木曜日までに監督職員へ提出すること。
- 9 騒音・振動等には細心の注意を払い、周辺住民から苦情が出ないようにすること。また、地域住民及び営業車両等からの苦情・要望等に対しては、速やかに監督職員に連絡し、その指示に従うこと。
- 10 交通規制を行う際は交通誘導員を配置し、周辺住民から苦情が出ないようにすること。
- 11 作業時間外における建設機械等（重建設機械を含む）による車道及び歩道の規制は行わないこと。
- 12 本工事区間はバス路線となっていることから、運行管理者と十分協議のうえ、工事を実施すること。

- 1 3 工期が観光シーズン等の工事規制の時期と重なる場合は、規制期間を考慮した工程をたてること。
- 1 4 本工事箇所は、周辺住民の生活道路となっていることから、歩行者や自転車の交通量が多いため、工事の実施に際しては十分注意を払うこと。
- 1 5 本工事の引渡し完了までの間、現場代理人は、昼夜を問わず常時連絡が取れる体制をとること。
- 1 6 創意工夫等実施状況について、請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに提出することができる。なお、様式については監督職員の指示によるものとする。
- 1 7 監督職員との連絡は密にとり、疑義が生じた場合は監督職員と十分な打合わせを行い、遺漏のないよう努めること。
- 1 8 その他については、監督職員の指示に従うこと。

箇所図



● 本工事施工箇所